

第 4 章 業績測定・実績評価（チェックアップ）

業績測定・実績評価（チェックアップ）は、気象行政の健康診断のようなものです。気象庁の目標に対する改善の状況を測定するとともに、その改善に向けた業務の取組状況や業務目標の達成状況について実績を評価します。

1 取組の概要

業績測定に用いる業績指標と目標値について、平成 14 年 3 月に設定しました。

また、13 年度の業務実施状況を踏まえて、実績評価に係る年度ごとの業務目標として、14 年度の業務目標を 14 年 3 月に設定しました。

以上の 13 年度の取組に加え、14 年度に入り、13 年（度）の業績測定を行うとともに、13 年度の業務目標（13 年 3 月設定）の実績評価を行い、その結果を、この業務評価レポートに掲載しました。

なお、14 年 5 月には、実施庁として 13 年度に気象庁が達成すべき目標について、国土交通大臣による実績評価がなされ、公表されました。

（国土交通省ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/annai/kishou/13hyoka.html>）

2 業績測定に係る業績指標・目標値の設定

業績指標・目標値とは、気象業務の目指すべきアウトカム（気象情報が利用されることなどにより、国民にもたらされる成果）に関連する施策等（基本目標）によって、改善・向上させる指標とその数値目標のことです。気象庁のビジョンと使命を踏まえ、5 年程度を視野に入れて、4 つのアウトカム目標に関連した気象庁の基本目標（関連施策等）に関する 13 の業績指標とその目標値を 14 年 3 月に設定（4 月にホームページで公表）しました（表 4 - 1）。（14 年 7 月には、一部の業績指標について目標値の追加等を行っており、表 4 - 1 はこれを反映しています。なお、各業績指標・目標値の考え方等の詳細については、既に公表しているホームページを参照願います。）

業務評価は、国民の視点に立った成果重視の行政を目指すものであり、業績測定に係る「業績指標」の設定にあたっては、まず、「気象業務の評価に関する懇談会」（第 7 章参照）で意見・助言をいただき、気象庁が作成した「気象業務の評価（チェックアップ）に関する業績指標」の素案について、13 年 11 月 2 日から 12 月 17 日までの期間に、ホームページ等を通じてご意見募集を行いました。

その結果、33 機関（自治体等 17 機関、報道 6 機関、事業者 7 機関、個人

3名）から、総数約100件の貴重な意見を頂きました。頂いた意見は、気象庁の考え方とともに、ご意見募集結果（表4-2）として、14年4月に、「気象業務の評価（チェックアップ）に関する業績指標と目標値」の設定・公表とともに、気象庁ホームページで回答・公表しました。

3 実績評価に係る業務目標の設定

気象庁の基本目標（関連施策等）に関して、その達成に向けて効率的・効果的な業務運営を推進するため、年度ごとに具体的に行うべき業務内容や業務の達成度を「業務目標」として明確に設定し、その達成度や実績を評価することとしており、14年3月には、「気象業務に関する14年度の業務目標」を設定（13の基本目標に関して39の業務目標を設定）しました（表4-3）。

4 業績測定・実績評価結果

業績指標に関する13年（度）の業績測定、また12年度末（13年3月）に設定した「13年度の業務目標」に対する実績評価を行いました。その結果は、別冊のとおりです。これらの評価を踏まえた、気象庁の基本目標ごとの総合的な評価は表4-4のとおりです。